

〔奥羽觀蹟聞老志九鹿郡〕陸奥山 今曰之金華山

此地古小田郡稱陸奥山、今屬牡鹿郡、號金華山、去鮎川東十餘町、其山高峻突兀、高八十丈、島廻三十里、山形五峯、峯巒六十八區、溪澗亦四十八谷、山頂立天女堂、有寺號曰金華山、大金寺、自島汀到鮎川江濱、已二十三町四十間、或曰五里十町自江畔至華表十町四十間、自華表至岩下六十四間、自山顛至岸下二十三町、

按、此地古所謂陸奥山、延喜式所載黃金山神社是也、然後世合其地于牡鹿郡、稱其山于金華山、改號易名、俾其地失名區、換舊稱、安佛像立淫祠、永沒古往神社社號焉、皆是浮圖役徒之輩、所以逞其術固其誕、而惑世誣民之久、臻此者也、然州人國俗、惘然無知之者矣、

末松山 〔運步色葉集貝〕末松山

〔和漢三才圖會陸奥六十五〕末松山 松島之次有海邊 又有本松山中松山

相傳、昔夫婦契曰、如有浪越此山、則二中可離矣、然遠望之、恰似海波越過松山、

〔東遊雜記二十四〕案内の者の物語に、末の松山は街道より少し山の頂き見へて、僅ばかりのよりなり、是も宮城郡のうちにて、本の松山中の松山、末の松山と稱し、小山三ツ并て、中にも末の松山低し、此地を八幡村といふ、寺有り、末松山宗國禪寺と號す、則此寺山末の松山なりと相傳ふ、

〔古今和歌集東歌二十〕陸奥歌

君をおきてあだし心をわがもたば末の松山浪もこえなむ

〔伊呂波字類抄伊國郡〕妹妹山

〔書言字考節用集乾一坤〕妹背山紀州伊都郡

〔和漢三才圖會七十三〕吉野郡

妹背山 在宮瀧之西上市村之東

紀伊國 妹妹山